

# 県内大豆在来種から特色ある系統を純系化

## 1 背景・経過

- ・ 県内には、味がよいことから自家用として栽培され続けてきた在来種があった。
- ・ 特産品化の可能性を探るため2004年までに、県内大豆在来品種を50品種収集した。

50品種を収集

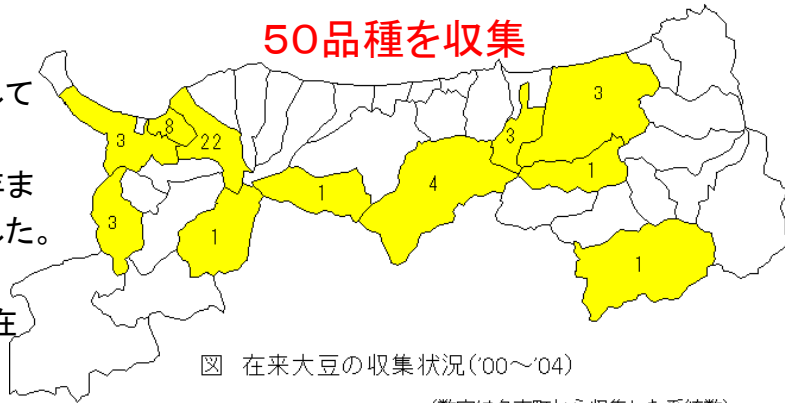


図 在来大豆の収集状況('00~'04)

(数字は各市町から収集した系統数)

その中にいくつかの特徴的な品種が存在

- ① タンパク含量が高い
- ② 全糖含量が高い
- ③ イソフラボン含量が高い

成分特性・加工適性・栽培適性から3品種を選抜し純系化

## 2 有望品種の概要

### 「2001大山1」 大山町 「大山もち緑」

- |   |   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 晩生</li> <li>・ 高タンパク</li> <li>・ 高全糖</li> <li>・ <b>高イソフラボン</b></li> <li>・ 煮豆が柔らかで甘く良好</li> <li>・ 豆腐加工適性高い</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 晩生</li> <li>・ タンパクは中庸</li> <li>・ 高全糖</li> <li>・ イソフラボンは中庸</li> <li>・ 緑色が濃く豆腐も緑</li> <li>・ 煮豆が柔らかで甘く良好</li> </ul> |
|---|---|

### 「神倉在来」 三朝町

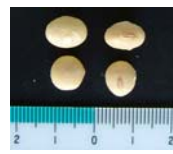
- ・ 熟期はほぼタマホレ並
- ・ タンパクは中庸
- ・ やや高全糖
- ・ **高イソフラボン**
- ・ 煮豆がごく甘く良好
- ・ 豆腐加工適性高い



2001大山1



大山もち緑



神倉在来

[具体的データ]

項 目		神倉在来	タマホマレ	2001大山1	大山もち緑	サチユタカ	
生 特 性 的	播種期 (月/日)	6/24	6/24	6/20	6/20	6/20	
	開花期	8/2	8/2	8/14	8/16	8/6	
	成熟期 (月/日)	11/3	11/2	11/17	11/15	10/30	
形 態 的 特 性	胚軸色	有	有	有	有	有	
	伸育型	有限	有限	有限	やや有限	有限	
	毛茸の色(主茎)	淡褐	白	褐	褐	白	
	小葉の形	卵形	鋭先卵形	鋭先卵形	鋭先卵形	鋭先卵形	
	花色	紫	紫	紫	紫	紫	
	主茎長 (cm)	53	47	70	76	48	
	着莢節位高(mm) (mm)	160	116	158	199	150	
	茎の太さ(mm) (mm)	6.1	6.6	8.6	7.9	7.9	
	主茎節数	14.0	13.2	16.5	16.0	13.8	
	分枝数 (本/個体)	4.2	3.7	5.0	4.9	3.5	
	着莢数 (個/m <sup>2</sup> )	466	605	518	534	575	
	1莢粒数	1.72	1.67	1.52	1.64	1.57	
	収 量 性	全 重 (kg/10a)	443	490	594	607	522
精子実重 (kg/10a)		233	250	276	283	254	
比 率		93	100	109	111	100	
粒 形 及 び 品 質	百粒重 (g)	35.6	31.3	40.5	38.7	33.4	
	粒形	球	球	球	偏球	球	
	種皮色	黄	黄	黄	緑	黄	
	子葉色	黄	黄	黄	緑	黄	
	臍色	淡褐	黄	黒	黒	黄	
	障害粒の 多 少	裂皮	多	ビ	甚	中～多	中
		紫斑	ビ	ビ	ム	ム	ム
		褐斑	ム	ム	ム	ム	ビ
		しわ	ム	ム	ム	ム	ム
	品質	中の中	上の下	中の中	中の中	中の上	
抵 抗 性 の	耐倒伏性	やや強	強	中	中	強	
	落葉性	良	良	良	良	良	
	べと病	弱	中	弱	強	強	
	ウイルス病	中	強	弱	中	中	

注) 神倉在来、タマホマレは2005年三朝町、2007年農試でのデータ

2001大山1、大山もち緑、サチユタカは2005年大山町、2007年農試でのデータ

表2 子実成分の特徴

項 目	神倉在来	タマホマレ	2001大山1	大山もち緑	サチユタカ
粗蛋白 (%/d.w.)	44.4	42.4	44.0	43.0	47.7
粗脂肪 (%/d.w.)	19.1	20.6	18.3	19.1	18.6
全 糖 (%/d.w.)	21.6	21.7	23.2	22.8	20.7
イソフラボン含量 (ug/d.w.g)	2325	1875	2025	1400	1950

注1)粗蛋白、粗脂肪、全糖は2005、2007年産、サチユタカは2007年産のみ、近赤外分光分析法による  
2)イソフラボン含量は2005、2006年産、アグリコン換算量

[今後の取扱]

3系統ともH20年度品種登録申請予定

問い合わせ先 : 鳥取県農林総合研究所農業試験場 作物研究室

電 話 : 0857-53-0721

※ 本書から転載複製する場合には必ず上記に許可を受けて下さい。